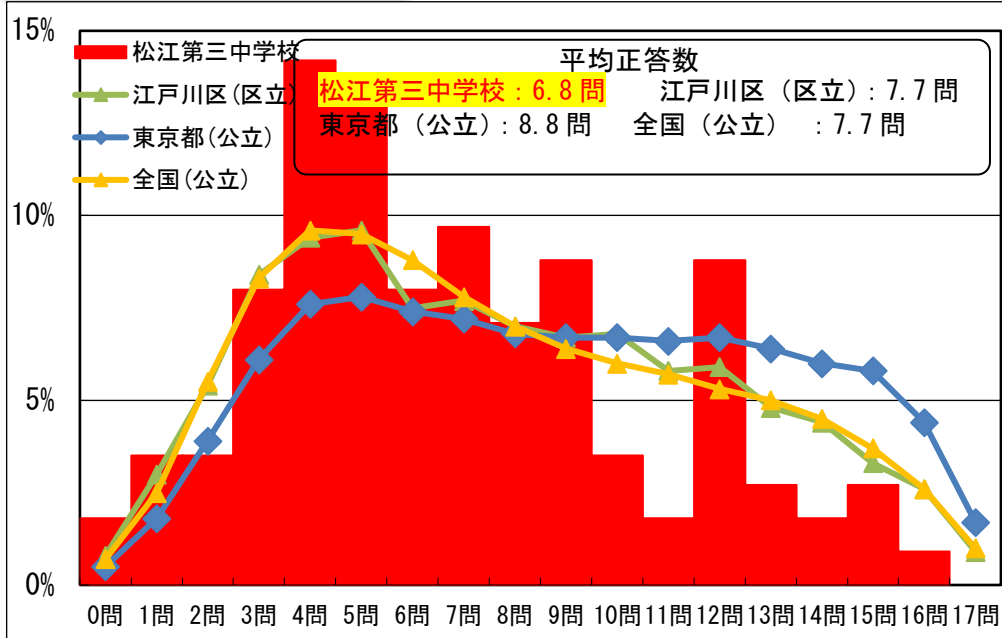
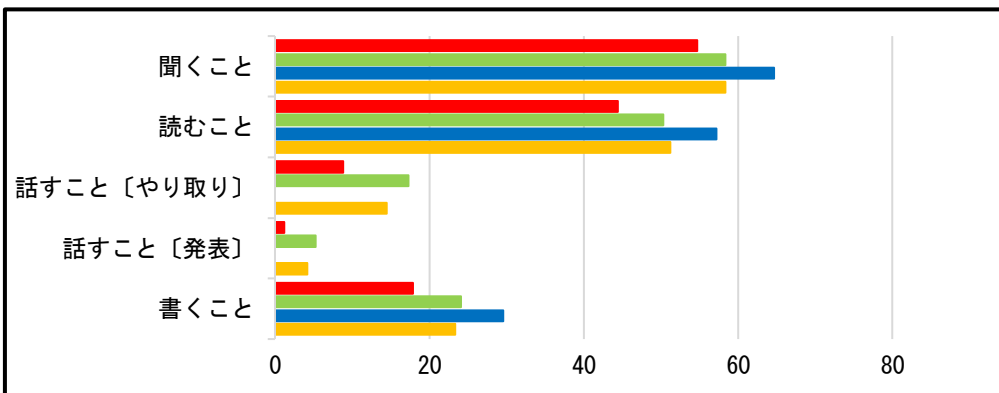
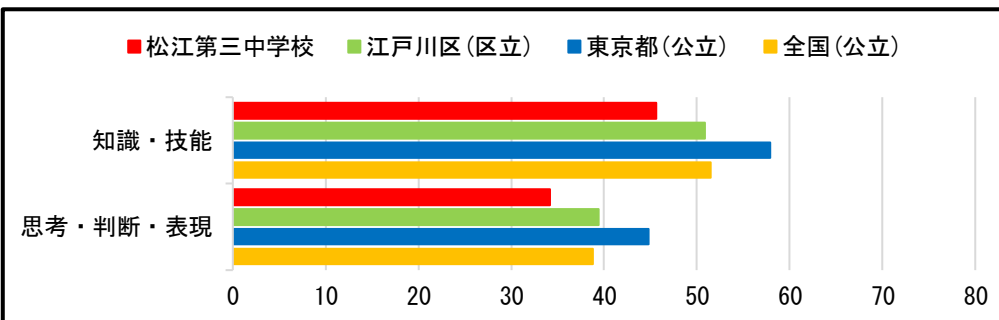


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【英語】 松江第三中学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

英語	上位 ← → 下位			
	A層 12~17問	B層 9~11問	C層 5~8問	D層 0~4問
松江第三中学校	16.9	14.1	38.0	31.0
江戸川区(区立)	21.9	19.3	31.8	27.0
東京都(公立)	31.0	20.0	29.2	19.8
全国(公立)	22.1	18.1	33.1	26.7

【平均正答率の差】

松江第三中学校	40%
江戸川区(区立)	45%
東京都(公立)	52%
全国(公立)	45.6%
都との差	12ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

「聞くこと」、「話すこと」の項目においては、全国平均等には達していないものの、日頃の授業での取り組みを生かして成果を発揮することができた。一方、「話すこと」においては、ある程度学力のある生徒層であっても得点できていない状況である。授業における発表活動が不十分であることが原因であり、授業内で身に着けた英語を「発信」する機会を増やし、学力向上を図りたい。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。